

Co-MaMeセミナー説明用資料

こころの病気（精神疾患・心身症）のある
児童生徒への支援・配慮

【Co-MaMe】

キーワード：行動面・適応面の困難、不登校、発達障害の二次障害

独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所 病弱班

土屋忠之（班長）

大崎博史（副班長）

小西孝政

五島 脩

* この資料の内容は今後、変更されることがあります

1

National Institute of Special Needs Education

研修会の流れ(予定)

1. Co-MaMe についての説明 【全体】

こころの病気(精神疾患・心身症)のある児童生徒への支援・配慮

2. ワーク

① シートへの記入 【個人】

② 情報の共有・協議 【グループ】

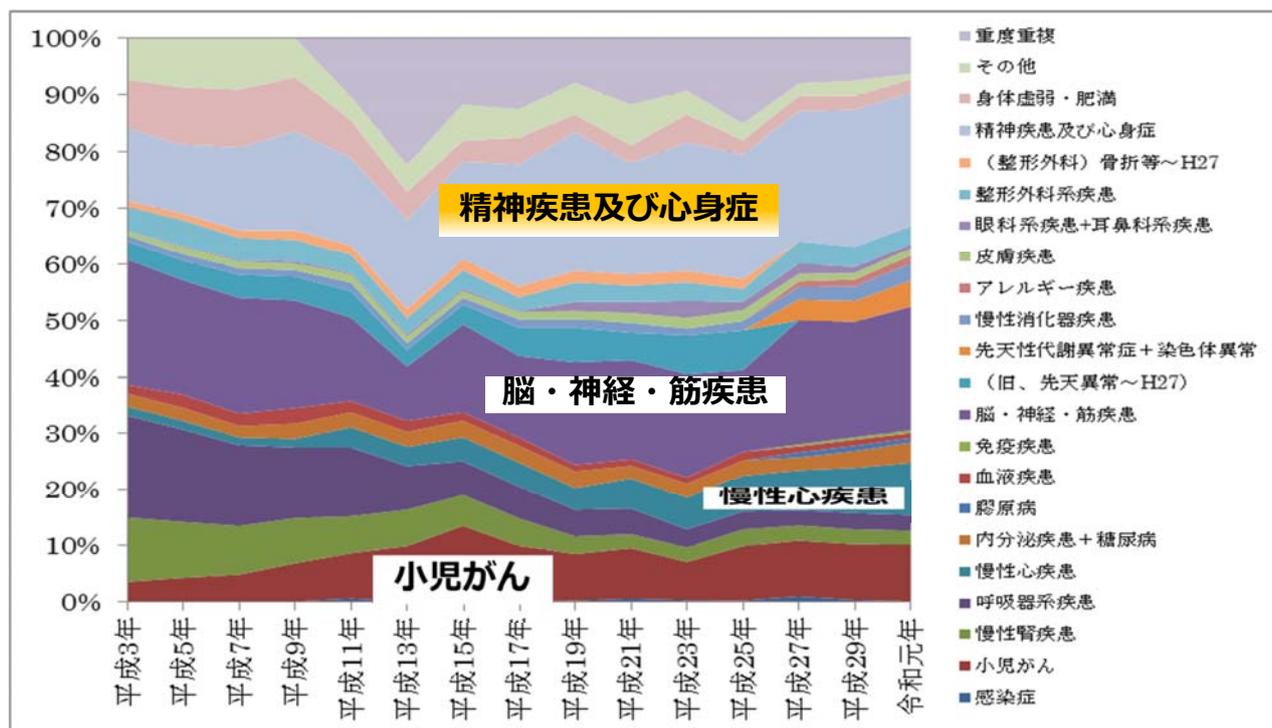
③ 情報共有 【全体】

2

National Institute of Special Needs Education

疾患群別の病弱児の割合の推移

全国病弱虚弱教育研究連盟「全国病類調査」を基に作成



3

National Institute of Special Needs Education

特別支援学校（病弱）について

【学校教育法施行令第22条の3】

＜特別支援学校（病弱）＞

- 一 慢性疾患の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物 その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの
- 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

4

National Institute of Special Needs Education

特別支援学校（病弱）について

【令和3年6月 障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～（文部科学省）より】

「その他の疾患」

例えば、糖尿病等の内分泌疾患、再生不良性貧血、重症のアトピー性皮膚炎等のアレルギー疾患、心身症、うつ病や適応障害等の精神疾患、高次脳機能障害などがある。

特別支援学校（病弱）について

【令和3年6月 障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～（文部科学省）より】

- ・近年は、自閉症や注意欠陥多動性障害と診断されていた子供が、**うつ病**や**適応障害**等の診断を受けて、年度途中で特別支援学校（病弱）に転入してくるが増えている。
- ・最近の特別支援学校（病弱）に在籍する、うつ病や適応障害等の精神疾患の子供の中には、自閉症や注意欠陥多動性障害等の発達障害を併せ有する者、（中略）不登校を経験した者、希死念慮や自殺企図を経験した者が多くなってきている。

1. 健康の保持

資料：特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編
(小学部・中学部),平成30年3月発行

(2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること

- **うつ病**などの精神性の疾患の幼児児童生徒の場合、食欲の減退などの身体症状、興味や関心の低下や意欲の減退などの症状が見られるが、それらの症状が病気によるものであることを理解できないことが多い。このような場合には、医師の了解を得た上で、幼児児童生徒が病気の仕組みと治療方法を理解するとともに、**ストレスがそれらの症状に影響を与えることが多いので、自らその軽減を図ることが**できるように指導することが大切である。
- 例えば、**日記を書く**ことでストレスとなった要因に気付いたり、小集団での話合いの中で、**ストレスを避ける方法や発散する方法**を考えたりすることも有効である。

2. 心理的な安定

資料：特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編
(小学部・中学部),平成30年3月発行

(1) 情緒の安定に関すること

- **心身症**の幼児児童生徒の場合、**心理的に緊張しやすく、不安になりやすい傾向がある**。また、身体面では、嘔吐、下痢、拒食等様々な症状があり、日々それらが繰り返されるため強いストレスを感じることもある。それらの結果として、**集団に参加することが困難**な場合がある。
- 幼児児童生徒が、自ら情緒的な安定を図り、日常生活や学習に意欲的に取り組むことができるようにするためには、**教師が病気の原因を把握した上で、本人の気持ちを理解しようとする態度**でかかわることが大切である。その上で、**良好な人間関係作り**を目指して、集団構成を工夫した小集団で、様々な活動を行ったり、十分にコミュニケーションができるようにしたりすることが重要である。

連続性のある 多相的多階層支援

Continuous Multiphase and Multistage educational support

Co-MaMe: こまめ

「こころの病気」のある児童生徒について、複数の教職員で実態把握を行い、支援方法を協議し、共通理解のもとに支援をする方法

National Institute of Special Needs Education

National Institute of Special Needs Education

精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育ニーズ

・教育的ニーズ40項目（6カテゴリー）

領域	項目
A.心理	A1 不安・悩み,A2 感情のコントロール,A3 こだわり,A4 意欲・気力 A5 自己理解,A6 気持ちの表現,A7 情緒の安定,A8 気分の変動,A9 自信
B.社会性	B1 集団活動,B2 社会のルール理解,B3 コミュニケーションスキル B4 同年代との関係,B5 家族との関係,B6 教師との関係 B7 異性との関係,B8 他者への信頼,B9 他者への相談,B10 他者理解
C.学習	C1 学習状況,C2 処理能力,C3 聞き取り・理解力,C4 読み・書き C5 記憶力,C6 注意・集中,C7 学習への意識,C8 経験
D.身体	D1 身体症状・体調,D2 巧緻性,D3 動作・体力,D4 多動性,D5 感覚過敏
E.学校生活	E1 見通し,E2 物の管理,E3 登校・入室への抵抗感
F.自己管理	F1 睡眠・生活リズム,F2 食事,F3 服薬,F4 病気の理解,F5 ストレスへの対処

教育的ニーズをもとに、特別支援学校(病弱)に勤務する教員304名から支援・配慮についての情報を得る(平成29~30年度)

項目内での支援の連続性

受容期

教員(担任)から、気持ちを落ち着かせて共感や受容をしながら、活動する上での土台を築く時期

試行期

教員(担任)との関わりの中で、気持ちや行動の振り返りを行いながら、少しずつ取り組む時期

安定期

友達や社会との関わりの中で、自分にあった対処方法を見つけて行いながら、目標に向けて取り組む時期

National Institute of Special Needs Education

11

National Institute of Special Needs Education

A1. 不安・悩み

【支援のイメージ図】

課題

- ・不安が強いため教室に入れず、強迫的な行為や暴言・暴力がある
- ・見通しをもてずに自信がなく、新しい活動を嫌がる
- ・心配が強くて経験の幅が広がらないため、進路に不安がある

受容期

* 気持ちを聞く

- ・話したい時にじっくり聴き、認める
- ・イライラすること等、感情を言葉にできるようにする

* 共感、理解する

- ・その時に出来ていることをほめる
- ・否定的な言葉を使わずに接する

* 無理なく好きな活動ができるようにする

- ・本人が好きな活動を行う
- ・授業はゆったり進めて会話を増やし、学習量を減らす
- ・不安になりやすい場所、時間は避ける

試行期

* 相談しながら行えるようにする

- ・行ったことを振り返り、落ち着ける方法や対処の仕方を一緒に考える
- ・不安や困難さを具体的に相談して共有していく

* スモールステップで行う学習設定

- ・一つ一つ教見本を見せたり、練習したりしてから行う
- ・少しずつ離れて一人で活動できるように見守る

* 見通しをもたせる

- ・学校のルール・日程、活動内容を板書や手元で視覚的に提示する
- ・初めて体験すること、場所、内容を詳しく説明

* 目標を設定して学習

- ・目標を細かく設定し、達成したら変容に気付かせる
- ・目標をクリアできない原因やその対策を考えさせる

安定期

* 対処方法を考えて取り組めるようにする

- ・ロールプレイを行い、不適切な行動を考えて練習する
- ・あらかじめ対策を立てられるようなスキルを身につける

* 将来に向けて学習する

- ・高校進学についての知識を身につけられるようにする
- ・実習で困った場合の対応方法を身につけられるようにする

National Institute of Special Needs Education

課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す National Institute of Special Needs Education

課題

- ・学校に行くことや、人と関わることが怖く、同学年の友だちに全く会えない。
- ・一对一の取組はできるが、教室に入れず、集団の活動ができない
- ・地元校での登校に抵抗が強い

受容期

*** 学習場所を柔軟に変更する**

- ・他の児童生徒と会わない場所等、実態に合わせて場所を変更する
- ・体調に合わせて休憩しながら個室で学習する

*** 共感、理解する**

- ・気持ち受け入れて、信頼関係を築いていく

*** 無理なく好きな活動ができるようにする**

- ・簡単で好きな内容で学習したり、楽しい経験したりする

試行期

*** 相談しながら行えるようにする**

- ・イライラした時の行動や学習内容、座席の位置等を相談していく

*** 友達と関わるようにする**

- ・友達の様子を伝えたり、友達が登校を誘ったりする

*** 少しずつ集団活動に参加していく**

- ・小集団や時間を決めて少しずつ参加していく

安定期

*** 役割を持たせて活動する設定**

- ・学級で取り組んでいることに役割をもたせる

*** 自分から伝えられるようにする**

- ・体調が悪い時、イライラする時は自分から伝えられる

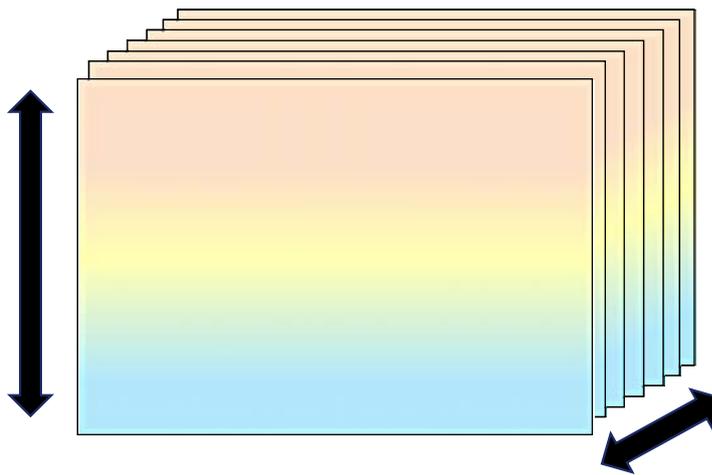
*** 将来に向けて取り組む**

- ・将来の自分を想像し、地元の学校での生活習慣に必要な力を身につける

National Institute of Special Needs Education

Co-MaMe

多階層（一つの項目内の連続性）



多相的
（項目間の関連性）

・「教育的ニーズ」のそれぞれの項目を児童生徒の状況に応じて関連させながら支援を実施 ➡ **多相的支援**

・「教育的ニーズ」の項目内において、児童生徒の状態に応じて変化させながら支援を実施 ➡ **多階層支援**

アセスメントシートで実態把握し、 支援・配慮のイメージ図で支援・配慮を具体的に検討

教育的ニーズが記載された【アセスメントシート】

【支援のイメージ図】

A 心理	チェック	
	①	②
A1 不安・悩み (不安が強い、悩みが解かられない)		
A2 感情のコントロール (気持ちを癒えられない、すぐに怒ってしまう)		
A3 こだわり (一つのことにとどまると他のことが書えられない)		
A4 電気・気力 (目覚めが悪い、やる気がおきない)		
A5 自己理解 (何が正しいか自分でも分からない)		
A6 気持ちの表現 (気持ちを言葉・文字に書けない)		
A7 情緒の安定 (嫌なことを思い出し、イライラする)		
A8 気分の変動 (嫌なことを思い出し、イライラする)		
A9 自信 (自分に自信がない、自己肯定感が低い)		

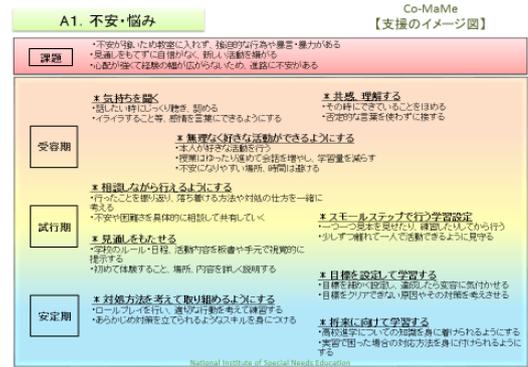
B 社会性	チェック	
	①	②
B1 集団活動 (集団の中に入ると疲れる、ルールに従えない)		
B2 社会のルールの理解 (学校や社会の規則を守れない、自分で変更する)		
B3 コミュニケーションスキル (あいさつが苦手、人の顔が読めない)		
B4 同年代との関係 (相手のことを考えた行動ができずトラブルになる)		
B5 家族との関係 (家族との関係がうまくいかない)		
B6 教師との関係 (教師を信用しない、教師とトラブル)		
B7 異性との関係 (異性との関係がうまくいかない)		
B8 他者への信頼 (人が信用できない、人と関わりたい)		
B9 他者への尊敬 (適切な時に敬意を払えない)		
B10 他者理解 (表情や態度から気持ちが読めない)		

C 学習	チェック	
	①	②
C1 学習状況 (勉強の仕方が分からない)		
C2 地理能力 (書きながら聞くなど、2つの作業を同時に行えない)		
C3 聞き取り・理解力 (何を聞いても理解できない、指導内容が分からない)		
C4 読み・書き (文章を読むのが遅い、漢字を正しく書けない)		
C5 記憶力 (すぐに忘れてしまう)		
C6 注意・集中 (集中が続かない、気が散って集中できない)		
C7 学習への意識 (様々な教科に出たくない)		
C8 落胆 (失敗経験が多い)		

D 身体	チェック	
	①	②
D1 身体症状・体調 (症状が強い、通学時や授業時がある)		
D2 巧緻性 (紙を渡して乗換することが困難なことがある)		
D3 動作・体力 (体が重い、動きがゆっくり)		
D4 多動性 (じっとしてられない、静めない)		
D5 感覚過敏 (においに敏感、大きな音が嫌い)		

E 学校生活	チェック	
	①	②
E1 見通し (予定の変更を受け入れられない)		
E2 物の管理 (忘れ物が多い、物をなくしてしまう)		
E3 登校・入室への抵抗感 (学校に行きたくない、教室に入れない)		

F 自己管理	チェック	
	①	②
F1 睡眠・生活リズム (寝起きが遅い、生活リズムが崩れる)		
F2 食事 (給食を食べられない、食事できない)		
F3 服装 (服装が汚い、履き替えが面倒)		
F4 病気の理解 (自分の体の状態を把握していない)		
F5 ストレスへの対処 (ストレスへの対処、書き換えが苦手)		



15

National Institute of Special Needs Education

ワークの流れ

16

National Institute of Special Needs Education

ワークの流れ

シートへの記入（個人）



情報の共有・協議（グループ）



情報共有（全体）

シートに記入しましょう
（個人）

アセスメントシートへの記入(個人)

A 心理	チェック	
	①	②
A1 不安・悩み (不安が強い、悩みが頭から離れない)		
A2 感情のコントロール (気持ちを抑えられない、すぐに怒ってしまう)		
A3 こだわり (一つのことにとこだわると他のことが考えられない)		
A4 意欲・気力 (目標がもてない、やる気がおきない)		
A5 自己理解 (何が辛いのか自分でも分からない)		
A6 気持ちの表現 (気持ちを言葉・文字に表せない)		
A7 情緒の安定 (嫌なことを思い出してしまう、イライラする)		
A8 気分の変動 (気分の浮き沈みがある)		
A9 自信 (自分に自信がない、自己肯定感が低い)		

支援している(いた)ある一人の児童生徒に当てはまる教育的ニーズに「○」

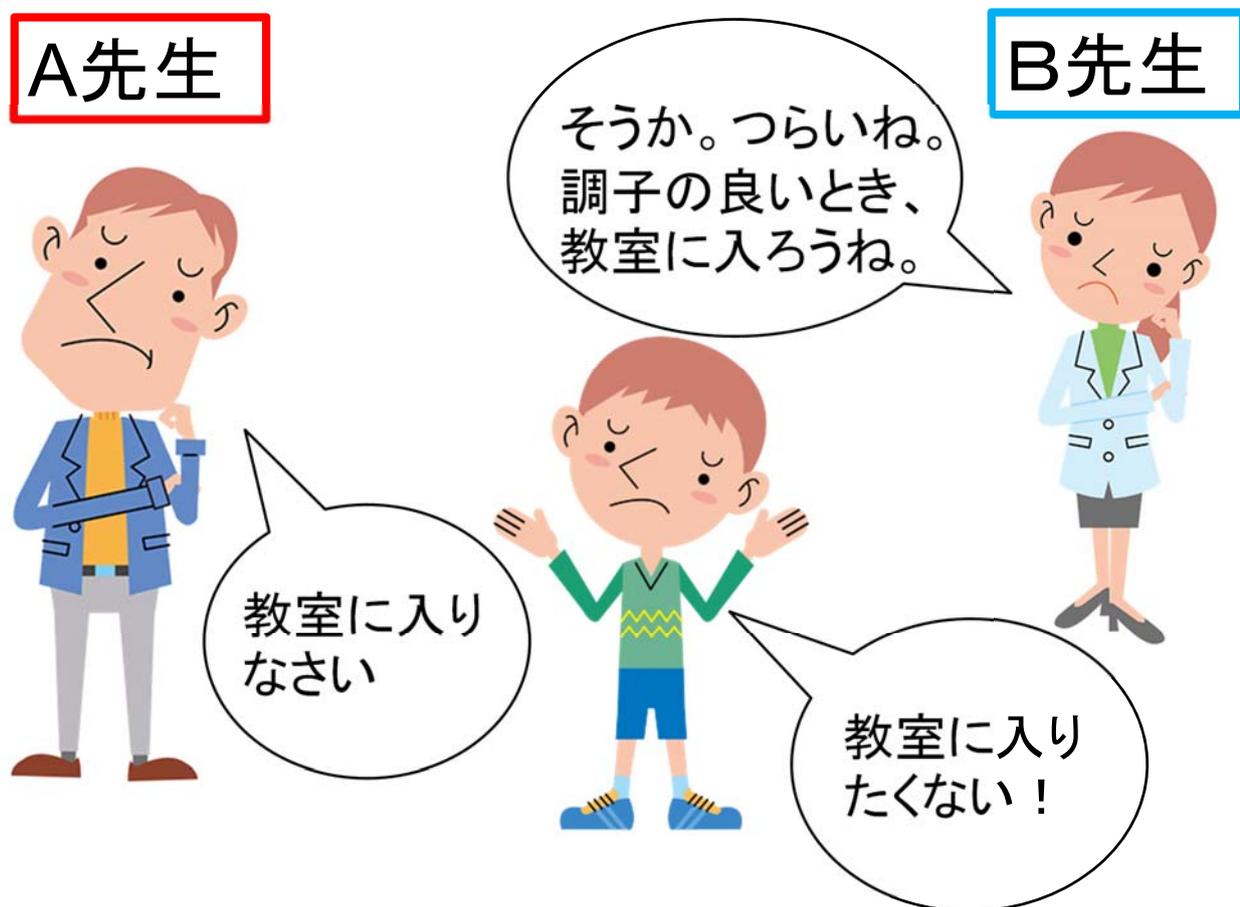
A「心理」～F「自己管理」まで当てはまる教育的ニーズすべてに「○」

優先して取り組む、教育的ニーズを3つほど決め、「◎」

整理用シートへの記入(個人)

整理用シート		参考例
教育的ニーズの項目を1つ選び(◎の項目等)、記号と名称を記入。		
記入欄		
①教育的ニーズの項目	D1	身体症状・体調
②具体的な課題内容	不安な気持ちになると、かゆみや痛みを訴えて、学習に取り組めなくなる。	
③支援・配慮等のねらい	不安や痛み等について相談したり、好きな活動をしたりすることで、安心感をもつ。 今、行う支援・配慮のねらいを記入。	
④教育的支援・配慮 【Co-MaMeの図を参考】	<ul style="list-style-type: none"> 不安な気持ちや、痛みやかゆみについていつでも相談できるようにして、焦りを感じたり、罪悪感をもったりしないようにする。 痛みやかゆみを気にせずに取り組めるように、本人が興味をもって取り組める内容を授業に取り入れる。 <p>* Co-MaMeの図を参考した支援・配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 本人の状態から〔受容期〕の取組を行う必要があり、気持ちを落ち着かせて共感や受容する支援を行っている 不安なことは何かじっくりと聞く 運動を行い頭痛や腹痛から思考をそらす <p>学校生活で実際に行った、または行っている取組等を記入。</p> <p>「支援のイメージ図」から記入。</p>	

情報の共有・協議について (グループ)



A先生



嫌がっているから、
気持ちを尊重してあげよう

B先生



将来のことを考えると、教室
に入るのが大切だと思う

友達と会えるの怖い・・・
教室に入るの無理・・・

アセスメントシートでの実態把握の違い

A先生

B先生

A 心理		チェック
	全	半
A1 不安・悩み [不安が強い、悩みが解消されない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A2 感情のコントロール [感情を抑えきれない、すぐに怒ってしまう]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A3 こだわり [一つのことにはこだわると他のことが考えられない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A4 意欲・気力 [意欲が足りない、やる気が足りない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A5 自己理解 [自分のことを自分でも分らない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A6 気持ちの表現 [気持ちを言葉、文字に表せない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A7 情緒の安定 [嫌なことを思い出し、イライラする]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A8 気分の変動 [気分の落ち込みがある]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A9 自信 [自分に自信がない、自己肯定感が低い]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

B 社会性		チェック
	全	半
B1 集団活動 [集団の中でいざとされる、ルールに従えない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B2 社会のルールの理解 [集団生活のルールを知らない、自分で決める]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B3 コミュニケーションスキル [あいづちがでない、人の話が聞けない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B4 同年代との関係 [相手のことを考えた行動ができずトラブルになる]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B5 家族との関係 [家族との関係がうまくいかない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B6 教師との関係 [教師を尊重しない、教師とトラブル]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B7 異性との関係 [異性との関係がうまくいかない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B8 他者への信頼 [人が信頼できない、人と関わらたくない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B9 他者への相談 [困った時に相談できない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B10 他者理解 [相手の態度から気持ちを読み取れない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

A 心理		チェック
	全	半
A1 不安・悩み [不安が強い、悩みが解消されない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A2 感情のコントロール [感情を抑えきれない、すぐに怒ってしまう]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A3 こだわり [一つのことにはこだわると他のことが考えられない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A4 意欲・気力 [意欲が足りない、やる気が足りない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A5 自己理解 [自分のことを自分でも分らない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A6 気持ちの表現 [気持ちを言葉、文字に表せない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A7 情緒の安定 [嫌なことを思い出し、イライラする]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A8 気分の変動 [気分の落ち込みがある]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A9 自信 [自分に自信がない、自己肯定感が低い]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

B 社会性		チェック
	全	半
B1 集団活動 [集団の中でいざとされる、ルールに従えない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B2 社会のルールの理解 [集団生活のルールを知らない、自分で決める]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B3 コミュニケーションスキル [あいづちがでない、人の話が聞けない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B4 同年代との関係 [相手のことを考えた行動ができずトラブルになる]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B5 家族との関係 [家族との関係がうまくいかない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B6 教師との関係 [教師を尊重しない、教師とトラブル]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B7 異性との関係 [異性との関係がうまくいかない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B8 他者への信頼 [人が信頼できない、人と関わらたくない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B9 他者への相談 [困った時に相談できない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B10 他者理解 [相手の態度から気持ちを読み取れない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

C 学習		チェック
	全	半
C1 学習状況 [勉強の仕方が分からない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2 処理能力 [書きながも読めない、2つの作業を同時にこなせない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C3 聞き取り・理解力 [聞き取れない、理解できない、意味が分からない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C4 読み・書き [文章を読むのが苦手、漢字が正しく書けない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C5 記憶力 [すぐに忘れてしまう]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C6 注意・集中 [集中できない、気が散って作業できない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C7 学習への意欲 [楽しいと感じない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C8 読解 [生活読解が難しい]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

D 身体		チェック
	全	半
D1 身体症状・体調 [体調が悪い、通院が必要がある]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D2 巧緻性 [手先を使って操作することが難しい]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D3 動作・体力 [体力がない、動きが遅い]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D4 多動性 [じっとしていられない、静でない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D5 感覚過敏 [刺激に敏感、大きな音が苦手]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

C 学習		チェック
	全	半
C1 学習状況 [勉強の仕方が分からない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2 処理能力 [書きながも読めない、2つの作業を同時にこなせない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C3 聞き取り・理解力 [聞き取れない、理解できない、意味が分からない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C4 読み・書き [文章を読むのが苦手、漢字が正しく書けない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C5 記憶力 [すぐに忘れてしまう]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C6 注意・集中 [集中できない、気が散って作業できない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C7 学習への意欲 [楽しいと感じない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C8 読解 [生活読解が難しい]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

D 身体		チェック
	全	半
D1 身体症状・体調 [体調が悪い、通院が必要がある]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D2 巧緻性 [手先を使って操作することが難しい]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D3 動作・体力 [体力がない、動きが遅い]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D4 多動性 [じっとしていられない、静でない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D5 感覚過敏 [刺激に敏感、大きな音が苦手]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

E 学校生活		チェック
	全	半
E1 見直し [作業の要領が覚えられない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E2 物の管理 [自分の持ち物を管理できない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E3 登校・入室への抵抗感 [登校に行きたくない、教室に入れない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

F 自己管理		チェック
	全	半
F1 睡眠・生活リズム [睡眠が不規則、生活リズムが崩れている]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F2 食事 [食事が食べられない、食事量が少ない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F3 服薬 [薬が飲めない、薬の管理が面倒]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F4 病気の理解 [自分の病気を理解していない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F5 ストレスへの対処 [ストレスへの対処、管理がうまくいかない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

E 学校生活		チェック
	全	半
E1 見直し [作業の要領が覚えられない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E2 物の管理 [自分の持ち物を管理できない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E3 登校・入室への抵抗感 [登校に行きたくない、教室に入れない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

F 自己管理		チェック
	全	半
F1 睡眠・生活リズム [睡眠が不規則、生活リズムが崩れている]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F2 食事 [食事が食べられない、食事量が少ない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F3 服薬 [薬が飲めない、薬の管理が面倒]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F4 病気の理解 [自分の病気を理解していない]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F5 ストレスへの対処 [ストレスへの対処、管理がうまくいかない]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

課題

- ・学校に行くことや、人と関わることが怖く、同学年の友だちに全く会えない。
- ・一对一の取組はできるが、教室に入れず、集団の活動ができない
- ・地元校での登校に抵抗が強い

受容期

*** 学習場所を柔軟に変更する**

- ・他の児童生徒と会わない場所等、実態に合わせて場所を変更する
- ・体調に合わせて休憩しながら個室で学習する

*** 共感、理解する**

- ・気持ち受け入れて、信頼関係を築いていく

B先生

*** 無理なく好きな活動ができるようにする**

- ・簡単で好きな内容で学習したり、楽しい経験したりする

試行期

*** 相談しながら行えるようにする**

- ・イライラした時の行動や学習内容、座席の位置等を相談していく

*** 友達と関わるようにする**

- ・友達の様子を伝えたり、友達が登校を誘ったりする

*** 少しずつ集団活動に参加していく**

- ・小集団や時間を決めて少しずつ参加していく

安定期

*** 役割を持たせて活動する設定**

- ・学級で取り組んでいることに役割をもたせる

*** 自分から伝えられるようにする**

- ・体調が悪い時、イライラする時は自分から伝えられる

*** 将来に向けて取り組む**

- ・将来の自分を想像し、地元の学校での生活習慣に必要な力を身につける

A先生

25 ()内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

National Institute of Special Needs Education

A先生



教室に入りたくない

B先生



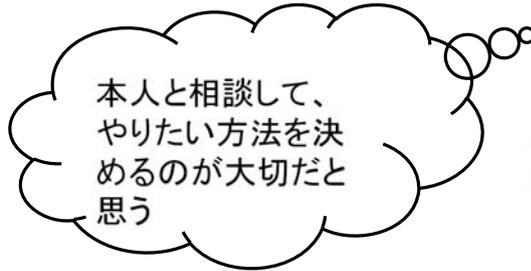
じゃあ、別の部屋でやる？
フリースペースに行く？
それとも保健室？

C先生



A先生

B先生



本人と相談して、
やりたい方法を決めるのが大切だと思ふ



C先生

E3. 登校・入室への抵抗感

【支援のイメージ図】

課題

- ・学校に行くことや、人と関わることが怖く、同学年の友だちに全く会えない。
- ・一対一の取組はできるが、教室に入れず、集団の活動ができない
- ・地元校での登校に抵抗が強い

受容期

- * 学習場所を柔軟に変更する
- ・他の児童生徒と会わない場所等、実態に合わせて場所を変更する
- ・体調に合わせて休憩しながら個室で学習する

* 共感、理解する

- ・気持ち受け入れて、信頼関係を築いていく

B先生

* 無理なく好きな活動ができるようにする

- ・簡単で好きな内容で学習したり、楽しい経験したりする

試行期

* 相談しながら行えるようにする

- ・イライラした時の行動や学習内容、座席の位置等を相談していく

C先生

* 友達と関わるようにする

- ・友達の様子を伝えたり、友達が登校を誘ったりする

それぞれ
支援や考えが
異なる

* 少しずつ集団活動に参加していく

- ・小集団や時間を決めて少しずつ参加していく

安定期

* 役割を持たせて活動する設定

- ・学級で取り組んでいることに役割をもたせる

* 自分から伝えられるようにする

- ・体調が悪い時、イライラする時は自分から伝えられる

* 将来に向けて取り組む

- ・将来の自分を想像し、地元の学校での生活習慣に必要な力を身につける

A先生

アセスメントシートで実態把握し、 支援・配慮のイメージ図で支援・配慮を具体的に検討

教育的ニーズが記載された【アセスメントシート】

【支援・配慮のイメージ図】

A 心理		B 社会性	
①	②	①	②
A1 不安・悩み (不安が強い、悩みが解消されない)		B1 集団活動 (集団の中に入ると疲れる、ルールに従えない)	
A2 感情のコントロール (気持ちをコントロールできない、すぐに怒ってしまう)		B2 社会のルール理解 (学校や社会の規則を守れない、自分で変更する)	
A3 こだわり (一つのことにこだわると他のことが書えられない)		B3 コミュニケーションスキル (あいづちが打てない、人の顔が読めない)	
A4 意欲・気力 (意欲が低く、やる気が起きない)		B4 同年代との関係 (相手のことを考えた活動ができずトラブルになる)	
A5 自己理解 (何が正しいか自分でも分からない)		B5 家族との関係 (家族との関係がうまくいかない)	
A6 気持ちの表現 (気持ちを言葉・文字に書けない)		B6 教師との関係 (教師を信用しない、教師とトラブル)	
A7 情緒の安定 (嫌なことを思い出し、イライラする)		B7 異性との関係 (異性との関係がうまくいかない)	
A8 気分の変動 (気分の揺れ込みがある)		B8 他者への信頼 (人が信用できない、人と関わりたい)	
A9 自信 (自分に自信がない、自己肯定感が低い)		B9 他者への相談 (困った時に相談できない)	
		B10 他者理解 (事情や態度から気持ちが読めない)	

C 学習		D 身体	
①	②	①	②
C1 学習状況 (勉強の仕方が分からない)		D1 身体症状・体調 (授業で疲れる、運動時や帰りが遅い)	
C2 地理能力 (書きながら聞くなど、2つの作業を同時に行えない)		D2 巧緻性 (紙を渡して乗換ることが難しすぎる)	
C3 聞き取り・理解力 (聞かなくても理解できない、指示内容が分からない)		D3 動作・体力 (力が足りない、動きが遅い)	
C4 読み・書き (文章を読むのが苦手、漢字を正しく書けない)		D4 多動性 (じっとしてられない、座てない)	
C5 記憶力 (すぐに忘れてしまう)		D5 感覚過敏 (おにぎりに敏感、大きな音が苦手)	
C6 注意・集中 (集中が続かない、気が散って集中できない)			
C7 学習への意欲 (楽しい教科書に当たらない)			
C8 経験 (生活経験が足りない)			

E 学校生活		F 自己管理	
①	②	①	②
E1 見通し (予定の変更が受け入れられない)		F1 睡眠・生活リズム (寝起きが不規則、生活リズムが崩れる)	
E2 物の管理 (忘れ物が多い、物をなくしてしまう)		F2 食事 (給食が食べられない、弁当が苦手)	
E3 登校・入室への抵抗感 (学校に行きたくない、教室に入れない)		F3 服薬 (薬が苦手、服薬の管理が面倒)	
		F4 病気の理解 (自分自身の病状を理解していない)	
		F5 ストレスへの対処 (ストレスへの対処、書き換えが苦手)	



A1. 不安・悩み [支援のイメージ図]

課題

- 不安が強い、ため息が入り、強迫的な行為や暴言・暴力がある
- 見通しをもちず自信がなく、強引な活動を強いる
- 心配が強くて授業が理解できず、授業に不安がある

受容期

- ※ 気持ちを緩く**
- 話を聞いてあげたり静かに聴く
- ※ 共感、理解する**
- その時々に合わせて話を聴く

試行期

- ※ 無理なく好きな活動ができるようにする**
- 本人が好きな活動を行う
- ※ 相談しながら行えるようにする**
- 行いたいことを具体的に相談して共有していく
- ※ 見通しをもたせる**
- 予定のルールや日程、活動内容を板書や手元で視覚的に提示する
- ※ エイブルステップで学習設定**
- エイブルステップで学習設定を行う
- ※ 目標を設定して学習する**
- 目標を細かく設定し、達成したら褒賞に結びつける

安定期

- ※ 対話方法を考えて取り組めるようにする**
- コミュニケーションスキルを身に付ける
- ※ 将来に向けて学習する**
- 高校進学についての知識を身に付けられるようにする

National Institute of Special Needs Education

課題及び支援の具体例は代表的なもののみを示す

E3. 登校・入室への抵抗感

【支援のイメージ図】

課題

- ・学校に行くことや、人と関わることが怖く、同学年の友だちに全く会えない。
- ・対一の取組はできるが、教室に入れず、集団の活動ができない
- ・地元校での登校に抵抗が強い

受容期

- * 学習場所を柔軟に変更する**
- 他の児童生徒と会わない場所等、実態に合わせて場所を変更する
- 体調に合わせて休憩しながら個室で学習する

* 共感、理解する

- 気持ち受け入れて、信頼関係を築いていく

支援の時期から考える

* 無理なく好きな活動ができるようにする

- 簡単で好きな内容で学習したり、楽しい経験したりする

試行期

* 相談しながら行えるようにする

- イライラした時の行動や学習内容、席の位置等を相談していく

* 友達と関わるようにする

- 友達の様子を伝えたり、友達が登校を誘ったりする

* 少しずつ集団活動に参加していく

- 小集団や時間を決めて少しずつ参加していく

安定期

* 役割を持たせて活動する設定

- 学級で取り組んでいることに役割をもたせる

* 自分から伝えられるようにする

- 体調が悪い時、イライラする時は自分から伝えられる

* 将来に向けて取り組む

- 将来の自分を想像し、地域の学校での生活習慣に必要な力を身につける

アセスメントシートで実態把握し、 支援・配慮のイメージ図で支援・配慮を具体的に検討

教育的ニーズが記載された【アセスメントシート】

【支援・配慮のイメージ図】

A 心理		チェック	変更
A1	不安・悩み (不安が強い、悩みが解かられない)		
A2	感情のコントロール (気持ちを伝えられない、すぐに怒ってしまう)		
A3	こだわり (一つのことばかりこだわると思えることが書かれない)		
A4	意欲・気力 (目標がたてない、やる気がおきない)		
A5	自己理解 (何がよいのか自分でも分からない)		
A6	気持ちの表現 (気持ちを言葉・文字に書けない)		
A7	情緒の安定 (嫌なことを思い出してしまふ、イライラする)		
A8	気分の変動 (気分のほさ込みがある)		
A9	自信 (自分に自信がない、自己肯定感が低い)		

B 社会性		チェック	変更
B1	集団活動 (集団の中に入ると疲れる、ルールに従えない)		
B2	社会のルール理解 (学校や社会のルールを守れない、自分で覚える)		
B3	コミュニケーションスキル (あいさつがうてない、人の顔が読めない)		
B4	同年代との関係 (相手のことをよくよく理解できずトラブルになる)		
B5	家族との関係 (家族とよく話さない、家族の話を聞かない)		
B6	教師との関係 (教師の話を聞かない、教師の話を聞かない)		
B7	異性との関係 (異性との関係がうまくいかない)		
B8	給食 (給食を食べられない、給食を食べられない)		
B9	給食 (給食を食べられない、給食を食べられない)		
B10	給食 (給食を食べられない、給食を食べられない)		

C 学習		チェック	変更
C1	学習状況 (勉強の仕方が分からない)		
C2	地理能力 (書きながら聞くなど、2つの作業を同時にこなせない)		
C3	聞き取り・理解力 (話を聞いても理解できない、指図内容が分からない)		
C4	読み・書き (文章を読むのが遅い、漢字を正しく書けない)		
C5	記憶力 (すぐに忘れてしまう)		
C6	注意・集中 (集中が続かない、気が散って集中できない)		
C7	学習への意欲 (楽しい教科書に当たらない)		
C8	読解 (文章の意味が分からない)		

D 自己管理		チェック	変更
D1	睡眠・生活リズム (睡眠がとれない、生活リズムが崩れる)		
D2	食事 (給食を食べられない、食事ができない)		
D3	服装 (服装が整わない、服装の管理が面倒)		
D4	病気の理解 (自分自身の病状を理解していない)		
D5	ストレスへの対処 (ストレスへの対処、書き込みから逃げる)		

E 学校生活		チェック	変更
E1	見直し (作業の量が受け入れられない)		
E2	物の管理 (忘れ物が多い、物をなくしてしまう)		
E3	登校・入室への抵抗感 (学校に行きたくない、教室に入れない)		

**連続性のある
多相的多階層支援**

Continuous Multiphase and Multistage educational support

こまめ

【支援のイメージ図】

※ 試行期

- ※ 見直しを促す
- ※ 見直しを促す
- ※ 見直しを促す

※ 安定期

- ※ 見直しを促す
- ※ 見直しを促す
- ※ 見直しを促す

共通の指標
見える化

↓

共通理解

A先生



B先生



共通理解した
方法でやってみよう

C先生



情報の共有・協議 (グループ)

グループ内で、それぞれが記入した
シートをもとに情報共有・意見交換する

1. 司会者・発表者を決める。
2. 記入したシートをもとに話し合う。
 - ・ 「◎」をつけた理由
 - ・ Co-MaMeのどこを参考にしたのか
 - ・ 共通点はどこか、相違点はどこか
 - ・ **どのような支援方法が考えられるか**

等々

※「受容期」「試行期」「安定期」（支援の時期）を意識して協議

情報共有しましょう(全体)

Co-MaMeに関する活動(研究所)

- 「こころの病気のある児童生徒への
教育的支援普及セミナー」の実施
- 「こころの病気のある児童生徒の
教育支援ガイド」を作成
- 「精神疾患等のこころの病気のある
児童生徒の指導と支援の事例集」
全国病弱虚弱教育研究連盟への協力



- ・特別支援学校(病弱)のセンター的機能等にて活用
- ・多くのこころの病気のある児童生徒が在籍する
小・中学校及び高等学校の教育に役立てる

35

National Institute of Special Needs Education

Co-MaMeに関する情報

詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

[基幹研究]精神疾患及び心身症のある児童生徒の 教育的支援・配慮に関する研究

(平成29年度～30年度)【研究代表者】土屋 忠之

○研究成果報告書(平成31年3月発行)

<http://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/2703>

○研究成果報告書サマリー集【平成30年度終了課題】

P9～15(令和元年5月発行)

<http://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/2613>

○季刊 特別支援教育 No.76 令和元年 冬

P52～53(令和元年12月,文部科学省著作,東洋館出版社発行)

36

National Institute of Special Needs Education